

市政について
問う！

一般質問
代表質問

第四回（二月）定例会では、市長の令和二年度施政方針に対する代表質問が行われ、七つの会派から質問がありました。

※代表質問は「一括質問」一括答弁方式で実施しています。



全ての質問項目
(通告一覧) はこちら



志政会

浅原 和美

「誇り高い、元気なまち沼津」の実現に向けた令和二年度の取組は

問 市長が掲げる「誇り高い、元気なまち沼津」の実現に向けた令和二年度の主な取組は。

答 市長／「誇り高い、元気なまち沼津」とは、市民誰もが沼津への愛着と誇りを持ち、いつまでも住み続けたいと思えるようなまちを目指すことであり、その実現に向けて、令和二年度は、重要施策として位置づける鉄道高架事業の早期完成に向けた取組の推進をはじめとした各種基盤整備を着実に進めていくほか、沼津御用邸記念公園の開園五十周年など、本市にとって極めて大きな節目を迎える年であることから、本市の

にぎわいづくりに向けた観光や文化振興に資する様々な取組を展開していく。さらに、本市への移住定住の施策をはじめ、安心して子供を産み育てることができ環境づくりや、小中学校での教育環境の向上、フレイル対策など、子供から高齢者まで、まちの主役である市民の生活を支える様々な施策について総合的に取り組んでいく。



▲開園 50 周年を迎える沼津御用邸記念公園

協働のまちづくりを推進するための庁内連携の状況は

問 多様化するニーズに対応したまちづくりを進めていくには、市民や団体等との協働により課題解決を図ることが必要と考えるが、その前提となる庁内の連携の状況は。

答 市長／担当課の所管業務を超えて調整が必要な案件については、庁内関係課による連絡会等を開催し、情報共有と課題解決に向けた調整を行っている。また、市民ニーズに対しては、他課との連携を図るほか、市民や団体等と連携した取組ができないかを常に意識して行動できるように職員に対して働きかけを行っている。きたいと考えている。

問 J3リーグに所属するアスルクラ沼津のホームスタジアムである愛鷹広域公園多目的競技場の照明設備の改修に対する認識は。

答 市長／同競技場の照明設備は、二〇二三年シーズンのJ3ライセンスの取得に必要な基準を満たしていない状況にあり、改修が必要だと認識している。照明設備の改修に向け引き続き、アスルクラ沼津と共に施設管理者である県に相談を行っている。



▲愛鷹広域公園多目的競技場

市民クラブ

深田 昇

周辺環境との調和と産業立地の両立を

問 産業立地の促進には、柔軟な土地利用の取組が必要と考えるが、周辺環境との調和と産業立地の両立をどのように図っていくのか。

答 市長／本市では、東名・新東名の各スマートインターチェンジの開設や、今後予定されている東駿河湾環状道路の西区間の整備により、広域交通網へのアクセス性が飛躍的に向上することから、そのポテンシャルを生かした産業立地に取り組んでいく必要があると認識している。一方、豊かな自然環境を有するインターチェンジ周辺の市街化調整区域の土地利用に当たっては、周辺環境と

の調和を図ることが重要であるため、道路や公園、緑地等の都市施設の配置や建築物等の用途などを一体的に定める地区計画の活用により、計画的かつ適切な土地利用の誘導を図っていきたくと考えている。具体的には、市街化調整区域の現状や課題を整理した上で、企業の立地需要を見極めながら、地区計画の適用がふさわしいエリアの選定や運用の考え方などを示す市街化調整区域における地区計画適用の基本的な方針を策定し、本市のさらなる発展に向け、周辺環境との調和と産業立地の両立を図っていきたくと考えている。

自民沼津

久保田 吉光